



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月11日

上場会社名 ミヨシ油脂株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4404 URL <http://www.miyoshi-yushi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 三木 逸郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 妹尾 泰三 (TEL) 03-3603-1149
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	15,154	5.9	543	54.1	481	89.3	279	145.0
2025年12月期第1四半期	14,306	1.0	352	△71.4	254	△79.5	114	△87.7

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 728百万円(496.0%) 2025年12月期第1四半期 122百万円(△94.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	27.38	—
2025年12月期第1四半期	11.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	84,349	42,370	50.2
2025年12月期	84,160	42,672	50.6

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 42,323百万円 2025年12月期 42,625百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	—	—	100.00	100.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	—	—	70.00	70.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 2025年12月期年間配当金の内訳 普通配当 70円00銭 特別配当 30円00銭

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日~2026年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,000	4.9	1,110	100.6	1,030	92.0	540	△93.8	52.93
通期	62,200	4.6	2,540	29.6	2,300	20.2	1,490	△84.5	146.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年12月期1Q	10,306,895株	2025年12月期	10,306,895株
-------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年12月期1Q	105,944株	2025年12月期	105,685株
-------------	----------	-----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年12月期1Q	10,201,044株	2025年12月期1Q	10,182,238株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
 監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2026年1月1日~2026年3月31日)における我が国経済は、継続的な物価上昇等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当油脂加工業界におきましても、各国のバイオ燃料政策に伴う需要拡大等を背景として油脂原料相場が高値圏で推移したほか、円安の進行による調達コストの上昇も重なり、厳しい事業環境が続きました。

このような状況のなか、当社グループは、当連結会計年度が2年目となる「第二次中期経営計画(2025~2027年度)」に基づき、食品事業の「進化」と油化事業の「深化」による継続した成長を目指し、販売面では、主力製品を中心とした拡販に注力するとともに、市場ニーズを捉えた高付加価値製品の開発・販売および積極的なマーケティング活動を通じた新規市場・新規顧客の開拓を推進しました。利益面では、人件費・物流費をはじめ原材料費および包装資材費等の各種コスト増加に対応するため、販売価格の適正化に取り組むとともに、調達の見直しや生産効率の改善等を着実に実施し、収益の確保に努めました。

この結果、売上高は15,154百万円(前年同期比5.9%増)、営業利益は543百万円(前年同期比54.1%増)、経常利益は481百万円(前年同期比89.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は279百万円(前年同期比145.0%増)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

① 食品事業

食品事業につきましては、原材料価格やエネルギーコストの上昇が続く厳しい環境のなか、収益性を重視した販売活動を推進するとともに、既存製品の統廃合を含む製品ポートフォリオの見直し等により、マーガリン、ショートニング、粉末油脂等の主力製品の販売が堅調に推移しました。また、新しい味の創出と拡充に向けた事業の「進化」を具現化するために、当社独自の香味技術を応用した製品やカカオ不足等の代替需要に対応した製品の拡販に努めるとともに食感の差別化に着目した新製品を発売するなど多様化する市場ニーズへの対応に注力しました。あわせて販売価格の適正化を推進し、収益性の強化にも取り組みました。

この結果、売上高は10,589百万円(前年同期比5.0%増)、営業利益は486百万円(前年同期比264.0%増)となりました。

② 油化事業

油化事業につきましては、国内製造業向け需要の低迷や主要原材料価格の想定を超える上昇など厳しい外部環境が続くなか、原材料価格の変動に対応した適正価格での販売を通じて収益の確保に努めるとともに、当社独自の環境視点に基づく生産体制の拡充、主力製品の拡販、研究開発領域の拡大といった事業の「深化」を具現化するための取り組みに注力しました。しかしながら、主力の紙・パルプ、トイレットリー、環境関連等の各分野において、原材料価格が期初の想定を大幅に上回る水準まで上昇したことに加え、海外廉価品の台頭や国内需要の低迷など複数の外部要因が重なり、販売価格の適正化やコスト削減に努めましたが利益面では苦戦を強いられました。

この結果、売上高は4,457百万円(前年同期比6.6%増)、営業利益は36百万円(前年同期比73.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ189百万円増の84,349百万円となりました。主な増加は建設仮勘定2,257百万円、仕掛品378百万円であり、主な減少は受取手形及び売掛金1,230百万円、現金及び預金1,193百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ491百万円増の41,978百万円となりました。主な増加は借入金1,915百万円、流動負債のその他1,169百万円であり、主な減少は未払法人税等1,987百万円、支払手形及び買掛金368百万円、電子記録債務250百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ301百万円減の42,370百万円となりました。主な減少は利益剰余金750百万円であります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末の50.6%から50.2%に減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の業績予想につきましては、2026年2月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,673	8,479
受取手形及び売掛金	15,311	14,080
電子記録債権	3,337	2,966
商品及び製品	3,340	3,558
仕掛品	909	1,288
原材料及び貯蔵品	4,643	4,508
その他	633	536
貸倒引当金	△171	△165
流動資産合計	37,678	35,253
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,881	3,830
機械装置及び運搬具（純額）	3,662	3,597
土地	6,716	6,716
リース資産（純額）	6,668	6,580
建設仮勘定	3,715	5,972
その他（純額）	822	822
有形固定資産合計	25,466	27,519
無形固定資産		
その他	1,783	1,744
無形固定資産合計	1,783	1,744
投資その他の資産		
投資有価証券	11,131	11,697
退職給付に係る資産	5,489	5,517
差入保証金	2,124	2,125
その他	508	514
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	19,232	19,832
固定資産合計	46,482	49,095
資産合計	84,160	84,349

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,076	12,708
電子記録債務	515	265
短期借入金	4,835	4,895
1年内返済予定の長期借入金	300	300
未払法人税等	2,038	50
設備関係電子記録債務	571	568
その他の引当金	3	18
その他	2,595	3,765
流動負債合計	23,936	22,571
固定負債		
長期借入金	3,235	5,090
繰延税金負債	5,021	5,363
役員株式給付引当金	64	68
退職給付に係る負債	2,198	2,001
リース債務	6,716	6,618
その他	316	265
固定負債合計	17,551	19,407
負債合計	41,487	41,978
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,015	9,015
資本剰余金	5,492	5,492
利益剰余金	20,183	19,432
自己株式	△152	△152
株主資本合計	34,538	33,787
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,652	6,049
為替換算調整勘定	474	600
退職給付に係る調整累計額	1,960	1,885
その他の包括利益累計額合計	8,087	8,536
非支配株主持分	47	47
純資産合計	42,672	42,370
負債純資産合計	84,160	84,349

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	14,306	15,154
売上原価	11,617	12,381
売上総利益	2,688	2,772
販売費及び一般管理費	2,336	2,229
営業利益	352	543
営業外収益		
受取利息	0	7
受取配当金	45	61
その他	21	31
営業外収益合計	67	100
営業外費用		
支払利息	136	127
持分法による投資損失	7	9
その他	21	25
営業外費用合計	165	162
経常利益	254	481
特別損失		
有形固定資産除却損	48	32
特別損失合計	48	32
税金等調整前四半期純利益	205	449
法人税、住民税及び事業税	20	11
法人税等調整額	73	158
法人税等合計	93	170
四半期純利益	112	279
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	114	279

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	112	279
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	203	397
為替換算調整勘定	△161	126
退職給付に係る調整額	△31	△74
その他の包括利益合計	9	448
四半期包括利益	122	728
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	123	728
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(棚卸資産の評価方法の変更)

当社の原材料の評価方法は、従来、月次総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間の期首より、移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）に変更しております。

この変更は、新基幹システムの導入を契機として、より迅速かつ適正な期間損益計算を行うことを目的としたものであります。

なお、過去の連結会計年度について、移動平均法による計算を行うことが実務上不可能であり、遡及適用した場合の累積的影響額を算定することができないため、前連結会計年度末の原材料の帳簿価額を当連結会計年度の期首残高として計算しております。

また、この変更による影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	食品事業	油化事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,089	4,181	14,270	35	14,306	—	14,306
セグメント間の内部売上高 又は振替高	31	34	66	145	211	△211	—
計	10,120	4,216	14,337	180	14,518	△211	14,306
セグメント利益	133	141	274	77	352	—	352

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、原料油脂等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	食品事業	油化事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,589	4,457	15,047	106	15,154	—	15,154
セグメント間の内部売上高 又は振替高	56	45	102	12	114	△114	—
計	10,645	4,503	15,149	119	15,268	△114	15,154
セグメント利益	486	36	522	20	543	—	543

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、原料油脂等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

- 1 当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。
 なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	429百万円	472百万円